

○枚方市立伊加賀スポーツセンター条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、枚方市立伊加賀スポーツセンター条例（平成22年枚方市条例第24号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(運動広場の開所時間)

第2条 条例第5条第2項の規定により規則で定める運動広場の開所時間は、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、当該各号に定める時間とする。

(1) 4月及び9月から翌年3月まで 午前8時から午後5時まで

(2) 5月から8月まで 午前8時から午後7時まで

(登録の手続)

第3条 条例第6条第1項の登録を受けようとする団体は、枚方市運動広場使用団体登録申請書（様式第1号）又は枚方市立伊加賀・サプリ村野スポーツセンター（体育館・多目的体育室）使用団体登録申請書（様式第2号）を指定管理者（条例第4条第1項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）に提出しなければならない

2 指定管理者は、前項の規定による申請書の提出があった場合において適当と認めたときは、当該申請を行った団体に対し、枚方市運動広場使用団体登録証（様式第3号）又は枚方市立伊加賀・サプリ村野スポーツセンター（体育館・多目的体育室）使用団体登録証（様式第4号）を交付するものとする。

3 第7条第2項の登録を受けようとする者は、枚方市テニスコート・バレーボールコート使用者登録申込書（様式第5号）を指定管理者に提出しなければならない。

4 指定管理者は、前項の規定による申込書の提出があった場合において適当と認めたときは、当該申込書の提出を行った者に対し、枚方市テニスコート・バレーボールコート使用者登録証（様式第6号）を交付するものとする。

5 第2項又は前項の規定により交付する登録証の有効期間は、その交付の日から当該交付の日の属する年度の翌年度の末日までとする。

6 前項の登録証の交付を受けているものは、第1項の規定により提出した申請書又は第3項の規定により提出した申込書に記載した事項に変更があったときは、遅滞なく、指定管理者にその旨を申し出なければならない。

7 前各項に定めるもののほか、条例第6条第1項及び第7条第2項の登録に関し必要な事項は、指定管理者が定める。

(専用使用の申請等)

第4条 条例第6条第1項の枚方市立伊加賀スポーツセンター（以下「センター」という。）の施設の専用使用（以下「専用使用」という。）の許可を受けようとする団体は、枚方市立伊加賀スポーツセンタ

一（運動広場）使用許可申請書若しくは枚方市立伊加賀スポーツセンター（体育館）使用許可申請書を指定管理者に提出し、又はインターネットを利用し、若しくは庁舎その他の施設に設置する機器を使用して、専用使用の許可の申請を行わなければならない。

2 前項の規定による専用使用の許可の申請（以下「専用使用許可申請」という。）は、使用日の3月前の日の属する月の22日の午前9時以後に行うことができる。この場合における専用使用の許可を受ける団体の決定は、先着順によるものとする。

3 前項の規定にかかわらず、主として市内に在住し、在職し、又は在学する者で構成する団体は、使用日の3月前の日の属する月の初日から20日までの間において、専用使用許可申請を行うことができる。この場合において、当該期間内に専用使用許可申請を行ったものが複数いるときにおける専用使用の許可を受ける団体の決定は、当該専用使用許可申請を行った団体による抽選によるものとする。

4 第2項の規定にかかわらず、市の機関が主催する行事その他指定管理者が特に必要と認める行事に係る専用使用許可申請は、同項に規定する期日前においても行うことができる。

5 指定管理者は、第1項の規定による申請があった場合において適当と認めたときは、当該申請を行った団体に対し、枚方市立伊加賀スポーツセンター（運動広場）使用許可書又は枚方市立伊加賀スポーツセンター（体育館）使用許可書を交付する。

（専用使用の中止等）

第5条 専用使用の許可を受けた団体は、専用使用を中止し、又は変更しようとするときは、次の表の左欄に掲げる専用使用の許可を受けている施設に応じ、同表の中欄に掲げる日までに、同表の右欄に掲げる届出書又は申請書を指定管理者に提出し、又はインターネットを利用し、若しくは庁舎その他の施設に設置する機器を使用して、専用使用の中止の届出又は変更の許可の申請をしなければならない。

この場合において、当該届出書又は申請書には、前条第5項の許可書を添付するものとする。

運動広場	当該使用の1週間前	枚方市立伊加賀スポーツセンター（運動広場）使用中止届出書
体育館	当該使用の4週間前（変更にあつては、1週間前）	枚方市立伊加賀スポーツセンター（体育館）使用中止届出書又は枚方市立伊加賀スポーツセンター（体育館）使用変更許可申請書

2 前項の規定による専用使用の許可に係る変更の許可の申請は、当該専用使用の許可につき、1回限りとし、中止の届出は、変更の許可を受けた後に行うことができない。

3 指定管理者は、第1項の規定による変更の許可の申請があった場合において適当と認めたときは、枚方市立伊加賀スポーツセンター（体育館）使用変更許可書を交付する。

（個人共用使用）

第6条 体育館の個人共用使用（以下「個人共用使用」という。）の許可を受けようとする者は、枚方市立伊加賀スポーツセンター使用券（様式第7号）を購入し、これを係員に提示しなければならない。こ

の場合においては、当該使用券の交付をもって条例第7条第1項の指定管理者の許可とみなす。

2 前項の使用券の有効期間は、発売日当日限りとする。

3 指定管理者は、体育館が現に専用使用の許可を受けた団体が使用中であっても、当該団体の承諾があるときは、個人共用使用と併用させることができる。

(テニスコートの使用の許可の申請等)

第7条 テニスコートの使用の許可を受けようとする者は、枚方市立伊加賀スポーツセンター（テニスコート）使用許可申請書を指定管理者に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、住所、氏名その他の事項について指定管理者の登録を受けた者は、インターネットを利用し、又は庁舎その他の施設に設置する機器を使用して、テニスコートの使用の許可の申請を行うことができる。

3 前2項の規定によるテニスコートの使用の許可の申請は、使用日の3月前の日の属する月の22日の午前9時以後に行うことができる。この場合におけるテニスコートの使用の許可を受ける者の決定は、先着順によるものとする。

4 前項の規定にかかわらず、市内に在住し、在職し、又は在学する者は、使用日の3月前の日の属する月の初日から20日までの間において、テニスコートの使用の許可の申請を行うことができる。この場合において、当該期間内にテニスコートの使用の許可の申請を行った者が複数いるときにおけるテニスコートの使用の許可を受ける者の決定は、当該テニスコートの使用の許可の申請を行った者による抽選によるものとする。

5 第3項の規定にかかわらず、市の機関が主催する行事その他指定管理者が特に必要と認める行事に係るテニスコートの使用の許可の申請は、同項に規定する期日前においても行うことができる。

6 指定管理者は、第1項又は第2項の規定による申請があった場合において適当と認めたときは、当該申請を行った者に対し、枚方市立伊加賀スポーツセンター（テニスコート）使用許可書を交付する。

(令2規則71・一部改正)

(テニスコートの使用の中止)

第8条 テニスコートの使用の許可を受けた者は、テニスコートの使用を中止しようとするときは、当該使用の1週間前までに枚方市立伊加賀スポーツセンター（テニスコート）使用中止届出書を指定管理者に提出しなければならない。この場合において、当該届出書には、前条第6項の許可書を添付するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、前条第2項の規定により登録を受けた者は、インターネットを利用し、又は庁舎その他の施設に設置する機器を使用して、テニスコートの使用の中止の届出を行うことができる。

(利用料金の支払)

第9条 条例第9条第1項ただし書の規定によりセンターの施設及び附属設備（以下「センターの施設

等」という。)の使用の開始までに利用料金を支払うことができる場合は、インターネットを利用し、又は庁舎その他の施設に設置する機器を使用して使用の許可の申請がされた場合とする。

- 2 第5条第1項又は前条第1項若しくは第2項の規定により使用の中止の届出をした場合における利用料金の支払の期限は、当該使用の許可の申請がインターネットを利用し、又は庁舎その他の施設に設置する機器を使用してされた場合にあっては、当該使用の許可において使用の開始とされていたときとする。

(附属設備の利用料金の上限)

第10条 条例第9条第3項第2号の規定により定める額は、別表のとおりとする。

(利用料金の還付)

第11条 条例第10条ただし書の規定により定める基準は、次に掲げる場合に利用料金の全額を還付することができることとする。

(1) 天災その他センターの施設等の使用の許可を受けたもの(以下「使用者」という。)の責めにやらない理由により使用できなくなったとき。

(2) 使用の中止の届出を使用日の1週間前(体育館の使用に係るものにあつては、4週間前)までに行ったとき。

- 2 条例第10条ただし書の規定により利用料金の還付を受けようとするものは、その旨を指定管理者に申し出るものとする。

(利用料金の減免)

第12条 条例第11条の規定により定める専用使用に係る基準は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額を減額し、又は免除することができることとする。

(1) 市の機関が使用するとき 全額

(2) 指定管理者が条例第3条各号に掲げる事業を行うために使用するとき 全額

(3) 前2号に掲げる場合のほか、市長が特に必要があると認めるとき 市長が別に定める額

- 2 条例第11条の規定により定める駐車場の使用に係る基準は、条例別表1の表第2号の表備考3第3号から第6号までに掲げる者が運転し、又は同乗する自動車を駐車場に駐車させる場合その他市の機関が使用する場合であつて市長が特に必要があると認めるときに利用料金の全額を免除することができることとする。

- 3 条例第11条の規定により利用料金の減免を受けようとするものは、その旨を指定管理者に申し出るものとする。

(使用時間帯等の変更による利用料金の精算)

第13条 施設の使用時間帯等の変更に伴い、利用料金の額に変更が生じたときは、その差額について、不足分は徴収し、超過分は還付しないものとする。

(特別の設備の設置等)

第14条 使用者は、特別の設備の設置又は備付け以外の器具の使用の許可を受けようとするときは、その内容を記載した仕様書を指定管理者に提出しなければならない。

2 指定管理者は、前項の規定による許可をするに当たっては、センターの管理運営上必要な条件を付することができる。

(使用者等の遵守事項)

第15条 使用者は、次の事項を守らなければならない。

- (1) 第4条第5項、第5条第3項及び第7条第6項の許可書並びに第6条第1項の使用券を携帯し、係員から請求があったときは、これを提示すること。
- (2) 使用の許可を受けていないセンターの施設等を使用しないこと。
- (3) 承認を受けずにセンターで広告、ポスター等を配布し、又は掲示しないこと。
- (4) 承認を受けずに物品の展示、販売その他これらに類する行為をしないこと。
- (5) 喫煙し、及び指定の場所以外で火気を使用しないこと。
- (6) 使用の許可を受けた使用時間内で準備及び整理を行うこと。
- (7) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (8) 係員の指示に従うこと。

2 入場者は、前項第2号から第5号まで、第7号及び第8号に規定する事項を遵守しなければならない。

(損傷等の届出)

第16条 使用者は、次のいずれかに該当する場合は、直ちに係員に届け出て、その指示に従わなければならない。

- (1) センターの施設等を損傷し、又は滅失したとき。
- (2) センターの施設等の使用を開始するとき及び使用を終了したとき。

(入場の制限)

第17条 指定管理者は、次のいずれかに該当する者に対し、その入場を禁止し、又は退場させることができる。

- (1) 第15条の規定に違反した者又は違反するおそれのある者
- (2) 感染症の疾患があると明らかに認められる者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理運営上支障があると認められる者

(令4規則58・一部改正)

(係員の立入り)

第18条 使用者は、係員がセンターの管理運営上必要があつて、使用場所へ立入りを求めた場合は、これを拒むことができない。

(補則)

第19条 この規則に定めるもののほか、センターの管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則〔令和4年11月7日規則第58号〕

この規則は、公布の日から施行する。

別表（第10条関係）

(1) テニスコート附属設備

区分	単位	金額
夜間照明設備	1面30分	300円

(2) 体育館附属設備

区分	単位	金額
マット	1枚	100円
ストレッチマット	1枚	50
ブロックマットセット	1式	1,000
ホワイトボード	1台	100
机	1脚	50
椅子	1脚	50
デジタルタイマー	1台	500
ストップウォッチ	1個	100
バスケットボール用オフィシャル用具	1式	500
CDポータブルシステム	1台	500
ポータブルワイヤレス拡声器（マイクロホン1本を含む。）	1台	500
ワイヤレスマイクロホン	1本	500
プロジェクター（スクリーンを含む。）	1台	1,000
延長コード	1巻	100
大体育室放送設備（マイクロホン1本を含む。）	1式	2,000
各種ボール	1個	50
コーナーポスト	1個	50
ゲーム用ベスト	1枚	50
体力測定用具	1式	1,000

コインロッカー	1 回	100
---------	-----	-----

備考

- 1 この表に掲げる金額（コインロッカーに係るものを除く。）は、条例別表 1 の表第 2 号の表に定める午前、午後A、午後B若しくは夜間の各時間当たり又は条例別表 2 の表に定める 1 回当たりの額とする。
- 2 条例別表 1 の表第 2 号の表備考 3 の中学生等の団体が使用する場合の金額（コインロッカーに係るものを除く。）は、この表に掲げる金額に0.5を乗じて得た額とする。

様式第 1 号（第 3 条関係）

枚方市運動広場使用団体登録申請書

年 月 日

(宛先)
〔登録権者氏名〕

申請者 氏 名 _____
電 話 _____

次のとおり登録を申請します。

フリガナ 団 体 名				構成人数	人 (市内 人)
代 表 者	住 所	(〒 -)			
	フリガナ 氏 名		電 話		
	フリガナ 昼間連絡先		電 話		
電子メール ア ド レ ス				区 分：	<input type="checkbox"/> 市内 <input type="checkbox"/> 市外
パスワード (数字 4 桁)				主 な 競技種目	

※団体構成員の名簿を添付してください。

様式第2号（第3条関係）

枚方市立伊加賀・サプリ村野スポーツセンター（体育館・多目的体育室）使用団体登録申請書

年 月 日

（宛先）

〔登録権者氏名〕

申請者 氏 名 _____

電 話 _____

次のとおり登録を申請します。

フリガナ 団 体 名					構 成 人 数	人 (市内 人)	
代 表 者	住 所	(〒 —)					
	フリガナ 氏 名					電 話	
	フリガナ 昼間連絡先					電 話	
	パスワード (数字4桁)					主 な 競 技 種 目	
電 子 メール ア ド レ ス							
区 分	<input type="checkbox"/> 市内 <input type="checkbox"/> 市外				<input type="checkbox"/> 中学生等 <input type="checkbox"/> その他		

※団体構成員の名簿を添付してください。

様式第3号（第3条関係）

枚方市運動広場使用団体登録証

様

〔登録権者氏名〕

次のとおり登録します。

団 体 名					構成人数	人
代 表 者	住 所	(〒 -)				
	氏 名				電 話	
I D 番 号						
パ ス ワ ー ド (数字4桁)					区 分： <input type="checkbox"/> 市内 <input type="checkbox"/> 市外	
電 子 メ ー ル ア ド レ ス						

有 効 期 間	
---------	--

様式第4号（第3条関係）

枚方市立伊加賀・サプリ村野スポーツセンター（体育館・多目的体育室）使用団体登録証

様

〔登録権者氏名〕

次のとおり登録します。

団 体 名					構 成 人 数	人 (市内 人)
代 表 者	住 所	(〒 —)				
	氏 名			電 話		
	昼間連絡先			電 話		
パスワード (数字4桁)					主 な 競 技 種 目	
電 子 メール ア ド レ ス						
区 分	<input type="checkbox"/> 市内 <input type="checkbox"/> 市外				<input type="checkbox"/> 中学生等 <input type="checkbox"/> その他	

承 認 年 月 日		有 効 期 限	
I D 番 号			

様式第5号（第3条関係）

枚方市テニスコート・バレーボールコート使用者登録申込書

年 月 日

(宛先)
〔登録権者氏名〕

次のとおり登録を申し込みます。

使 用 者	住 所	(〒 -)			
	フリガナ 氏 名			電 話	
	フリガナ 昼間連絡先			電 話	
	電子メール ア ド レ ス			区 分： <input type="checkbox"/> 市内 <input type="checkbox"/> 市外	
パ ス ワ ー ド (数字4桁)					

様式第 6 号（第 3 条関係）

枚方市テニスコート・バレーボールコート使用者登録証

様

〔登録権者氏名〕

次のとおり登録します。

使 用 者	住 所	(〒 —)			
	氏 名			電 話	
I D 番 号					
パ ス ワ ー ド (数字 4 桁)					区 分： <input type="checkbox"/> 市内 <input type="checkbox"/> 市外
電 子 メ ー ル ア ド レ ス					

有 効 期 間	
---------	--

様式第7号（第6条関係）

枚方市立伊加賀スポーツセンター		
使 用 券		
日	大人・中学生等	番
付	市内	号
	市外	
枚方市立伊加賀スポーツセンター		

